

# ◎ 2009 年度日本リスク研究学会第 22 回年次大会 ◎

【日時】: 2009 年 11 月 28 日(土)、29 日(日)、 前日 27 日(金): 公開ワークショップ開催

【場所】: 早稲田大学西早稲田キャンパス(旧・大久保キャンパス)

講演: 56 号館 / 総会・シンポジウム等: 57 号館 / 懇親会: 63 号館カフェテリア

(〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1)

地下鉄副都心線 西早稲田駅下車 0 分, JR 山手線、地下鉄東西線高田馬場駅下車 徒歩 15 分弱)

【スケジュール】 詳細は下記大会ウェブサイトをご参照下さい

11/27(金) 18:30 ~ 21:00 【公開】若手主催ワークショップ「化学物質のリスク評価と意思決定のギャップを埋める」

11/28(土) 9:30 ~ 受付開始

10:00 ~ 12:00 一般セッション(1)、企画セッション(1)

13:00 ~ 15:00 総会、学会賞受賞記念講演

15:00 ~ 17:30 【公開】

・ 特別講演: 藤垣裕子氏(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

「科学技術の公共性と科学コミュニケーション」

・ シンポジウム

「リスク管理と専門家の役割 - 環境リスクを事例として -」

パネリスト: 佐藤泉氏(日弁連公害対策・環境保全委員会)、早水輝好氏(環境省環境安全課長)、

小林哲也氏(衆議院議員事務所)

コメンテーター: 小島正美氏(毎日新聞社編集委員)

17:30 ~ 19:30 懇親会

11/29(日) 9:45 ~ 11:45 一般セッション(2)、企画セッション(2)

11:45 ~ 13:15 ポスターセッション

13:15 ~ 15:15 一般セッション(3)、企画セッション(3)

15:30 ~ 17:30 一般セッション(4)、企画セッション(4)、【公開】研修講座「新しいリスク

コミュニケーションツールの研修」 - クイズと討論により正しい知識の習得を目指す -

【セッション内容】

一般報告セッション: 食品リスク、リスク評価・管理、リスク認知、リスクコミュニケーション、健康・環境、

経済・経営・製品安全、災害・都市地域問題 他

企画セッション:

化学物質管理制度におけるリスク評価手法の全貌(今とこれから): 座長 竹田宜人(製品評価技術基盤機構)

災害リスクガバナンス: 座長 池田三郎・長坂俊成(防災科学技術研究所との共催)【公開】

化学物質のリスクトレードオフ解析手法の開発: 座長 恒見清孝(産業技術総合研究所)

食品安全の新たなガバナンスのあり方を探る: 座長 関澤純(食品総合研究所)

社会人リスクマネージャの役割と JRMN の今後の展望: 座長 宮崎隆介(日本リスクマネージャネットワーク)

【大会参加費お振込先(事前振込)】: 当日参加可能(できる限り事前にお振込をお願い申し上げます)

参加費(税込み、講演論文集代を含む) - 正会員・賛助会員・購読会員: 6,000 円 / 学生会員・学生: 4,000 円 /

非会員: 8,000 円 懇親会費: 4,000 円 振り込み期限: 11 月 13 日(金) 振込先口座 三井住友銀行

高田馬場支店(273), 普通預金口座 4516236, 日本リスク研究学会 2009 年度大会 代表 村山武彦

【お問い合わせ先】日本リスク研究学会第 22 回年次大会事務局(大会実行委員長 早稲田大学 村山武彦)

E-mail: [2009sra@sra-japan.jp](mailto:2009sra@sra-japan.jp) / 大会ウェブサイト: <http://www.sra-japan.jp/SRAJ2009HP/>

【公開】・・・大会登録者以外・学会員以外の一般の方々も参加が可能です(参加費無料)